

3 復興まちづくりの基本方針

まちの歴史を未来へ語り継ぐ

緒絶川及びこれと一体となった街並みの魅力を高めるとともに、緒絶川・橋や蔵、醸室等の観光資源、色濃く残る地域のつながり・生活感あふれる雰囲気など、まちを特徴づける資源を大切に守り、活用しながら、まちづくりを進めます。

安全・安心な暮らしと 活力再生の“拠点”整備

大規模な災害に備えた安全で安心な暮らしの拠点と、震災からの復興につながる中心市街地の活力・にぎわい再生のために新しい拠点を整備し、まちづくりを進めます。

人とまちを紡ぐ “まちなか回遊路”と“まちの庭”

緑の回遊路を形成して、来街者の誘導を促すとともに、風情ある小径の整備を進め、街歩きに彩りを添えていきます。ポケットパークを整備し、憩いの場・一時避難所をつくるとともに、緑化を促し、住み手と共に緑あふれるまちを作ります。

まちがにぎわう産業の再生

地域資源を活かした観光産業やコミュニティビジネスをはじめ、新たな産業創造と雇用の場の確保を図り、まちににぎわいと活気をもたらすと同時に地域経済の活性化を図ります。大崎ブランドの確立とシティプロモーションの推進により、街への愛着と誇り、憧れと魅力を創出し、人と街の絆を一層強めていきます。

5 計画の実現に向けて

まちの将来像に向かって、市民と民間事業者、行政が互いに協力し合いながら、力を合わせて計画を実現するよう官民協働のまちづくりを進めていきます。
実現に向けたアクションプログラムの概要は、下記のとおりです。

行動計画（アクションプログラム）

事業内容	(復旧期)	(再生期)		(発展期)		H31年度以降
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
■広域防災活動拠点の整備 ■緒絶川周辺の景観形成	○広域防災施設整備 ・防災拠点整備事業 ・大崎広域消防本部 古川消防署建設事業 ・駐車場整備					
	○市役所周辺整備 ・新庁舎建設事業 市役所周辺基盤整備事業 県道改良事業（古川佐沼線）					
	○緒絶川周辺景観整備 ・緒絶川コミュニティ整備事業 七日町～緒絶川小径整備事業					
■駅前～新図書館周辺整備	・災害公営住宅事業					
	・新図書館整備事業 新図書館周辺道路整備事業					
■コミュニティ再生地区（七日町）	・災害公営住宅事業					
	・コミュニティによるまちづくり検討					
■まちなか回遊路	・避難路（回遊路）整備事業 小径形成事業 ・一時避難場所整備事業（ポケットパーク）					
■まちなか全体	・沿道緑化等の取組み まちづくりルール制定 其他					

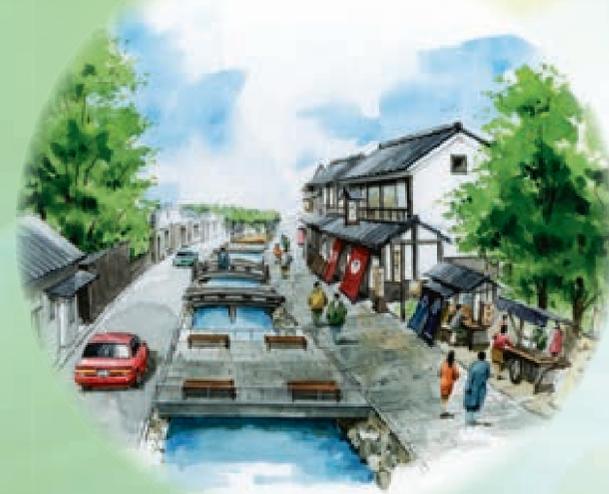
※事業スケジュールについては現時点の想定であり、今後の協議及び予算状況によって変更することがあります。

問い合わせ先

宮城県 大崎市 市民協働推進部 政策課 震災復興推進室
TEL.0229(23)2129 FAX.0229(23)2427
建設部 都市計画課
TEL.0229(23)8069 FAX.0229(22)9454



大崎市中心市街地復興 まちづくり計画



ダイジェスト版

平成25年3月
大崎市

1 復興まちづくりの基本理念とテーマ

みちのくの架け橋 人とまち、絆と共にまちなか創生

～きらめく水面、緒絶の蔵と風透る小径のまち～

本市の中心市街地は、宮城県のみならず東北地方の東西・南北軸の要衝となっており、この強みを活かし、宮城県や東北が未来に輝けるための「復興への架け橋」となることができるよう、街が人にできること、人が街にできることを共に考え、地域を愛し、文化を知る心や人を育み、安全で安心な暮らしを支えるまちの創生を図ります。

この理念に基づきながら、中心市街地の歴史性を色濃く物語り、「らしさ」を創出している緒絶川及びこれと一体となった風情ある街並みを守り、活用しながら、個性や魅力を高めるまちづくりを進めます。また、安全性を高め、にぎわい・活力を生み出すための拠点づくりや古くからの町割りそのままに、小径や広場のあるまちづくりを進めます。

2 復興まちづくりの目標

目標1 災害への“備え”と“支え合い”がある安全・安心なまち

広域的な防災・災害活動拠点を有するとともに、災害に強いインフラ施設の確保や災害時においてエネルギー供給等が可能となるような地域との連携強化により、大規模災害に備えた安全で安心なまちを目指します。

目標2 暮らす人、働く人、出会う人、皆が集いふれあうまち

より多くの人を訪れたい魅力あるまちづくりを進めるとともに、周辺地域との連携を強化し、皆が広く集いふれあうまちを目指します。

目標3 誇りや愛着をもち、暮らし続けることができるまち

様々な世代の生活を支える都市機能の充実や日常的なまちの安全性の確保を図るとともに、美しく、品格のあるまちづくりを進め、誇りや愛着、親しみをもって、暮らし続けることができるまちを目指します。

目標4 気持ちよく歩き、憩うことができるまち

誰もがまち歩きをしっかりとできる歩行環境を整えるとともに、休息できる場や歩くことが楽しくなる場をまちなかに設け、気持ちよく歩ける・歩きたくなるまち、災害時には安全に歩いて避難ができるまちを目指します。

目標5 お互いの顔がみえる“つながり”と“共助”のあるまち

まちへの愛着心や誇り、助け合い・支え合いの意識を育む取組を支援し、地域住民同士の“つながり”があり、“共助”の意識が育まれたまちを目指します。

4 中心市街地の将来像

広域防災・活動拠点整備

— 広域防災・活動(交流)のための拠点施設の集積 —

防災関連施設や防災広場を整備し、防災機能を集約した地域防災拠点を整備します。平常時には市民活動や交流拠点施設として活用します。

- 広域防災機能の集約・機能充実
- 防災センター、防災行政無線基地局の設置
- 防災広場の整備
- 夜間急患センター、健康管理センターの設置
- 新市役所庁舎建設
- 電気自動車(EV)スタンドの設置



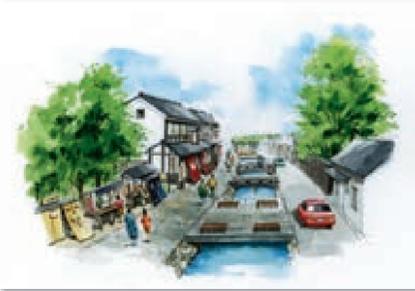
広域防災・活動拠点の整備イメージ
(国道108号側より)

緒絶川周辺の景観形成

— 川沿いの散策路や小径、蔵風建築の街並みのある風情ある地区の形成 —

緒絶川周辺について、観光客をはじめ多くの来街者をひきつけるような修景整備と、安心して気持ちよく歩ける歩行空間の形成、民間活力を活かした良好な建築物の集積で、風情ある良好な景観ゾーンをつくります。

- 大崎市観光物産センター整備事業による観光情報センター機能の強化
- 歩行空間の改善
- 誘導灯、腰棚の増設、気軽に水とふれあえる親水空間の整備
- 風情ある小径の整備や案内看板・周辺との回遊性を高めるサインの設置
- 風情ある建物の建築・改修に対する支援制度の検討
- 蔵の活用や沿道敷地等での緑化の推進
- 緒絶川の清流化、市民の憩いの場となる空間の創出
- ローカルエネルギーの普及啓発事業の推進、活用センター(仮称)の設置検討



緒絶川周辺の整備イメージ



七日町地区の小径とひろば整備

— 新たなまち暮らしを検討していく地区 —

様々な世代の交流・ふれあいや快適な暮らしを生み出すため、新たなまち暮らしのモデル地区の形成について官民協働で取り組んでいきます。また、まちなか居住の推進を図り、コミュニティの形成しやすい道路や広場といった基盤整備や民間活力を活かした地区整備の進め方について検討していきます。

- 公営住宅、集会施設(コミュニティスペース)の整備
- 民間投資促進特区を活用した産業集積(IT)の促進
- 新たなまち暮らしの地区形成や空きビル対策・空き地の活用方法について官民協働による取組の推進
- 幹線道路沿道での無電柱化の検討
- コミュニティ道路、小径の整備検討
- コミュニティ広場の整備検討



小径の整備イメージ

駅～新図書館周辺整備

— 駅から新図書館を回遊路で結び、行き交う人の多い地区の形成 —

新図書館の建設により若者をはじめ多くの人の通行が予想されるため、駅から図書館への回遊性を高めまちなか居住の推進とにぎわい・交流を促します。

- 新図書館の建設
- 公営住宅、集会施設(コミュニティスペース)の整備
- 駅と新図書館を結ぶ歩行環境の整備・改善
- 国道108号の歩道改良、無電柱化の促進
- 古川駅内の総合観光案内所の機能充実



駅～新図書館周辺の整備イメージ

まちなか回遊路・避難路

— 中心市街地の各拠点施設を結ぶ回遊路の形成 —

- まちなかに点在する拠点施設や歴史・文化的資源や医療・福祉、教育施設等を結ぶ道路について、まちなか回遊路・避難路として歩行空間の整備・改善に取り組んでいきます。
- 避難場所や避難所、広域防災拠点とを結び、災害時における地域住民の安全で円滑な避難誘導について取り組んでいきます。

- 歩道の拡幅、カラー舗装による視覚的歩車道分離、バリアフリー化、修景整備、サイン・案内板の設置による歩行空間の改善
- カラー舗装による視覚的歩車道分離
- 県道古川佐沼線の改良整備(歩道拡幅)の促進
- 県道古川松山線の改良整備(歩道拡幅)の促進
- 浦町における雨水排水整備



まちなか回遊路・避難路の整備イメージ